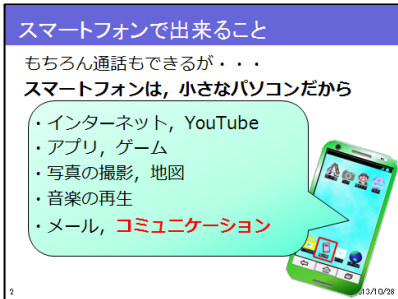
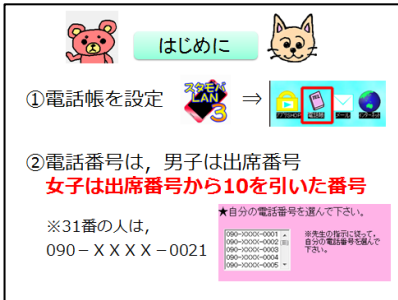


「コミュニケーションアプリを利用するときの注意点」についての展開例

1 題材のねらい

コミュニケーションアプリの「設定」によって見知らぬ相手とつながる危険性があることを体験させる。自分の選択によって周囲にも影響があることを考えさせながら、自分自身と周囲を危険から守る方法について学ばせる。コミュニケーションアプリを利用しての会話では、実際に文字だけで会話をさせ、「顔の見えない会話」は誤解を招きやすいことや誹謗中傷など相手の気持ちを考えない書き込みが起きやすいことに気付かせる。

2 展開例

過程	学習活動	教師の指導・支援	指導上の留意点等 ◎ポイント ※留意点 ・解説 ■用語解説
導入 5分	1. スマートフォンでできることについて知る。	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォンで何ができるかを簡単に質問し、スライドを示して説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年が上がるにつれ、スマートフォンの所持率が増加し、連絡にコミュニケーションアプリを利用する機会が増えている。
	2. スタモバ LAN3 を起動し、電話帳を登録して、アプリ「ぐるちゃ」の使用準備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 電話帳に、自分の名前と画像、電話番号を登録させる。スライドで操作方法を説明し、実際の操作についても一斉送信で確認してから進めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ※自分の名前はハンドルネーム（=ネット上のニックネーム）が良い。授業の最後に通信ログを公開するので、匿名のつもりでも個人が特定されるという説明にもつながる。 ※電話番号が重なると、データが上書きされるので、注意させる。 ※電話帳に自分のデータを登録すると、自動的に3人がランダムで追加される。この3人がアプリ上でも「友達」として自動登録される。 ※電話帳を登録しないで「ぐるちゃ」を起動することはできない。
	3. 学習内容の把握をする。	<ul style="list-style-type: none"> スライドで本時の目標を示し、確認させる。 	<div data-bbox="355 1776 1313 1868" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> コミュニケーションアプリを利用するときの注意点を知り、今後の使い方を考えよう。 </div>

4. 見知らぬ相手とつながる危険性を知る。

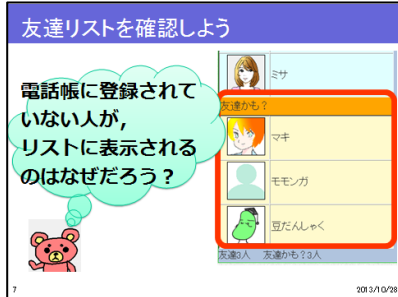
(1) アプリを起動し「友達」リストを確認する。

・アプリ「ぐるちゃ」を起動させ、「友達」リストを確認させる。この3人が誰かを簡単に予想させる。



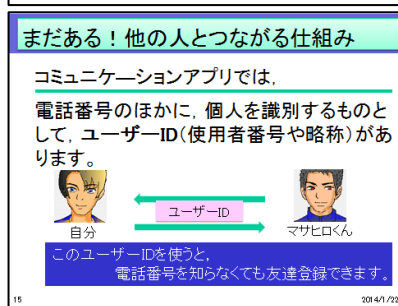
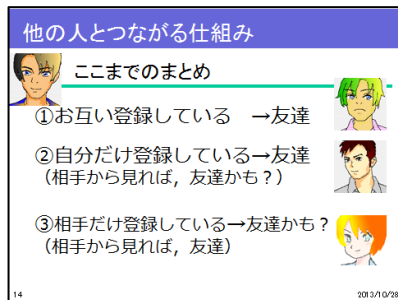
(2) 知らない人が、「友達かも？」リストに表示されていることを確認し、理由を予想する。

・電話帳に登録されていない人が「友達かも？」リストに表示される理由を予想させる。



(3) 「友達」・「友達かも？」リストに表示される仕組みを知る。

・スライドを使って、リストに表示される仕組みを説明する。



※電話帳の登録が全員済んでから、アプリを起動させる。アプリを起動した時点で、本教材の名簿リストに書き込まれる。

◎電話帳に登録されていた（本教材では自動登録）3人が、アプリ上でもそのまま「友達」となっていることを確認させる。

◎自分が相手を登録している場合、「友達」リストに表示される。相手だけが自分を登録している場合、「友達かも？」リストに表示される。

◎ユーザーID で登録する方法もある。相手のIDが分かれば、ID検索メニューから登録することができる。

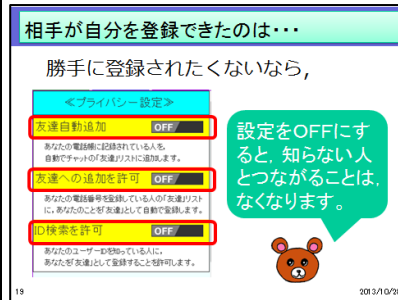
■ID…そのサービスを利用するための個人を識別する略称のことである。自分で任意に設定する場合が多い。

・ID 検索については、18 歳未満は使用できないように規制がかかったアプリもある。もちろん、電話番号からは、そのまま登録できる。

・アプリ登録時に使用した電話番号等から、アプリによってアカウント（＝使用権利のこと。ID＋パスワード等）が作成される。アプリによっては、友達紹介機能を使うと、このアカウントを紹介する形となり、電話番号も ID も不要で友達登録できる。

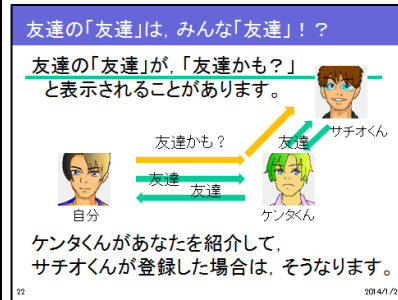
(4) セキュリティ確保の方法について知る。

・スライドを使ってセキュリティ確保の方法を知らせる。



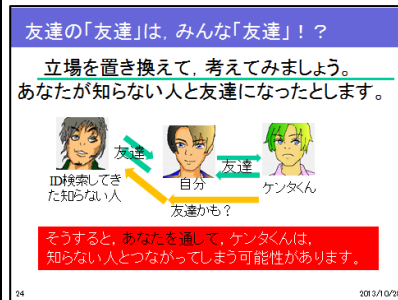
(5) 自分の知らない相手が「友達かも？」リストに表示されることについて考える。

・自分の知らない相手から連絡が来る可能性があることについてどう思うか質問する。



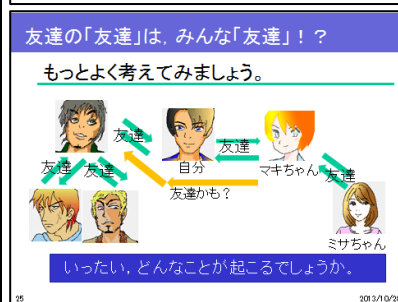
(6) 自分の設定によって、友達が見知らぬ相手とつながるとどうなるか、考えさせる。

・スライドを示して考えを深めさせる。



(7) コミュニケーションアプリを、責任を持って使うためには、どうしたらよいか考える。

・コミュニケーションアプリの責任ある使い方について考えさせ、発表させる。



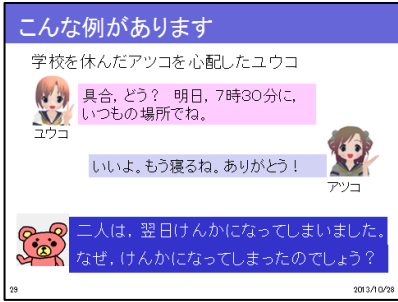

◎コミュニケーションアプリには、プライバシー設定機能があり、この設定を変えることで自動登録を防ぐことができる。初期設定では、全て自動登録許可になっていることが多い。

・セキュリティ設定で「友達への追加を許可」を ON にしていた場合、自分の知らないところで、相手に友達登録されることになる。その結果、自分の「友達かも？」リストに相手が表示されるようになる。

※「自分は友達が多い方がいいから、自由に相手に登録されて構わない」という考えが出てくるかも知れない。

◎友達の「友達」が、「友達かも？」と表示されることを知らせる。

◎自動追加を許可状態にすると、自分自身が危険だけでなく、自分のために友達にも危険が及ぶことについて気付かせる。

<p>5. 顔の見えないコミュニケーションの問題点を知る。</p> <p>(1) 文字だけの会話は誤解が起きやすいことや、相手の気持ちを考えない書き込みが起きやすいことを知る。</p> <p>(2) チャットを体験する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドを提示し、顔の見えない会話の問題点について説明する。  <ul style="list-style-type: none"> ・クラス全体にテーマを与えて、男女別にチャットをさせる。 ・使ってみて気を付けなければならないことはなかったか聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎チャットは、複数の意味を持つ言葉や相手の表情が見えないことから誤解が生じやすい。また、相手の気持ちを考えない書き込みが起りがちである。面と向かって言えない内容は書き込まないように指導する。 ◎誹謗中傷やなりすましの他に、個人情報や不確かな情報等を記入してはいけないこともおさえさせる。 ・スライドの例では、複数の意味のある言葉「いいよ」から誤解が生じている。「待ち合わせて学校へ行こう」と「まだ体調が悪いから断ります」では反対の意味になる。誤解されないように言葉をしっかりと補って書くことが大切である。 ※チャットが荒れるようであれば、6の指導に移る。
<p>6. コミュニケーションアプリで情報の伝わる仕組みを知る。</p> <p>(1) 書き込んだ内容等はサーバに全て記録されていることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者用ソフトウェアから会話の内容を提示して、誰の発言であるか分かることを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎IP アドレス、コンピュータ名、ユーザー名等が発言内容と共に記録されているため、発言者や記入内容が特定できることを知らせる。 ◎発言が記録されるのと同様に、画像データも記録される。アプリ上からは消えても、サーバにはデータが残ることを知らせる。
<p>7. まとめる。</p> <p>(1) 授業を振り返り、今後どのようにコミュニケーションアプリを使うか学習プリントにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後コミュニケーションアプリを使うとき、どのように使っていくか「設定」「文字だけの会話」を使ってまとめさせる。 ・まとめた内容を発表させる。 	

3 評価

<p>十分満足できると判断される生徒の姿 (A)</p>	<p>コミュニケーションアプリの使い方について、自分だけではなく周囲にも迷惑をかけないという視点で、「設定」「顔の見えない会話」の2つのキーワードを用いて適切に表現している。</p>
<p>本時の評価規準 (B)</p>	<p>コミュニケーションアプリの使い方について、「設定」「顔の見えない会話」の2つのキーワードを用いて適切に表現している。</p>
<p>支援が必要とされる生徒への支援方法 (C)</p>	<p>2つのキーワードを用いて記述していない生徒に対して、机間指導を行う。</p>